



# 埼玉キムチ新聞

第23号

2024年1月27日

販売会毎発行

(努力目標!)

kimuchi@saiai.net

## ■ 埼玉自由・その⑤

### 「笑顔に繋がる支援を」

埼玉キムチ活動は年七月に始まって今回で六年目、四三回を迎えました。この間、「少しでも学校運営に寄与するため、“利益全額カンパ”の活動」を行ってきました。カンパ（寄付）は通常は学校に渡しますが、子どもたちを直接支援する方法も行っています。

埼玉朝鮮初中級学校には舞踊部、バスケット部、吹奏楽部、サッカー部、美術部といった部活動があります（朝鮮学校では基本的に初級部4年生から何かしらの部活に所属）。

部活動の費用は学校の予算や所属する児童、生徒の部費が充当されますが、遠征費や設備の更新、道具の購入などの費用を賄うには十分とは言えません。



また、二五名の教職員が働く埼玉朝鮮学園の年間予算は約九千万であり、支出の多くは人件費や水道光熱費、日々の教育活動費が上位を占め、施設や備品の老朽化などへの対応は後回しにならざるを得ません。各部活の保護者やOB・OG会なども財政的支援を行っていますが、十分な環境を整えるには至っていません。



このような慢性的な状況に対して埼玉キムチは、「少額であっても子どもたちの環境が良くなるなら」との思いで、部活動の支援を行ってきました。舞踊部の衣装、バスケットボール部のデジタルタイマーの購入費補助など。

今年度は、幼稚園と相談し、傷みが激しかった2歳児クラスの「ジョイントマット」の張り替え費用と、園児数に比べて台数が不足していたランニングバイクの購入費を補助しました。

朝鮮半島には「작은 고추가 맵다 (小さな唐辛子が辛い)」とこの諺があります。日本の「山椒は小粒でもピリリと辛い」と同義かと思えます。今までと同様、埼玉キムチの収益とみなさまからの寄付を学校運営の為に役立てつつ、「小さくとも子どもたちの笑顔に繋がる支援」も行っています。

誰もが共に生きる埼玉県を目指し、  
埼玉朝鮮学校への補助金支給を求め  
る有志の会「HPはこちら」  
↓



### ★埼玉キムチについて★

2010年度末、埼玉県は、「財務の健全化」を口実に埼玉朝鮮学園への補助金の支給を打ち切りました。また、埼玉県議会は2012年に「拉致問題が解決するまで補助金の支給を行わない」という附帯決議を行いました。これは朝鮮学校に通う子どもたちとは何ら関係のない外交政治上の理由を持ち出すことによる不当な差別に他なりません。2018年度に県が財務状況について、「健全性が確認できた」と学校に通達した後も支給停止は続いています。

このような非常に厳しい状況の中、埼玉キムチは少しでも学校運営に寄与するため、“利益全額カンパ”の活動を行っています。美味しいキムチとともに、朝鮮学校支援の輪が広がりますよう、ご協力よろしくお願い致します。